※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０７

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『現代の歴史総合　みる・読みとく・考える』　（山川出版社）						
副教材等	プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、主題に対して、自らそして他者とともに強調して考察する授業を行います。
・「主題（Main question）を理解する→自身の意見を述べる→主題を取り組むのに必要な副題（Sub question）を考える→主題をもう一度考察する」といった一連の過程で、自分の意見を発表したり、議論したりする活動を史資料を基に行います。
・歴史的事項を単なる暗記としてとらえるのではなく、学習した知識を基に、比較考察することを心がけること。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料	a:「旅」を題材に私たちの生活や身近な地域などにみられる現象が日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 b:日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録などの資料を活用し、歴史が叙述されていることを理解する。	定期考査	グループワーク	振り返りシート
	結びつく世界と日本の開国	・18 世紀東アジアにおける社会と経済 ・貿易が結んだ世界と日本 ・産業革命 ・中国の開港と日本の開国	a：18 世紀以降の世界において、各国、各地域が互いに与えた影響に着目して、貿易面・経済面の観点からアジア諸国と欧米諸国の経済社会を理解する。 ｂ：18 世紀以降の世界がそれぞれどのように発展していったの	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			かについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ｃ:18 世紀以降の世界の結びつきがそのあとの時代にどのように変容するのかなどの視点を持ち、そのあとの学習につなげようとしている。			
２学期	国民国家と明治維新	・市民革命 ・国民国家 ・ナショナリズム ・明治維新 ・日本の産業革命 ・帝国主義 ・変容する東アジアの国際秩序 ・日露戦争と東アジアの変動	a:国民国家を形成しようとする動きが１９世紀になって広まった原因を理解している。 b：国民国家の形成がもたらした影響や課題について考察している。 c：国民国家の形成について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連付けながら追求しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	振り返りシート
	総力戦と社会運動	・第一次世界大戦 ・ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・アジアのナショナリズム ・大衆の政治参加 ・消費社会と大衆社会	a：第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着もして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを理解している。 b:第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察している。 ｃ：なぜ課題の多い国際体制しか築くことができなかったのか、現在の国際体制と比較しながら考察している。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	振り返りシート
学年末	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌の時代 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日中戦争への道 ・第二次世界大戦の展開 ・第二次世界大戦下の社会	a:グローバル化や地域統合、民主主義が抱えた問題点を理解している。 b：グラフや統計などの諸資料を読み取り、経済状況の画期や政策の転換点について考察し、表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野	定期考査 確認テスト	定期考査	振り返りシート レポート

※令和４年度以降入学生用

		・国際連合と国際経済体制 ・占領と戦後改革 ・冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・日本の独立と日米安全保障条約	に、自身との関わりをふまえて「国際秩序の変化や大衆化と私たち」の学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度